子どもの姿に学んだこと

晩秋の気配が感じられるようになりました。8月号に続き、今号は事務の阿南が担当します。

さて、先日、「親子で楽しむ運動」というイベントに参加しました。

このイベントはとてもユニークで、取り組む「運動」にちょっとしたハードルが課せられています。参加者は、慣れない動きを強いられたりして、「できない」を体験することになるのです。

不思議なのですが、最初に講師のお手本を見たときには、「できそう」と楽観的になります。ところが、実践すると「あれ、できない？」とつまずくことばかりです。

この〝チャレンジ〟の中で、子どもたちの姿には感銘を受けました。彼らは試行錯誤し、〝できる〟感覚を得ることを楽しんでいるのです。

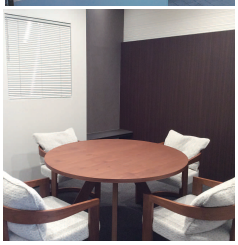
さらに、できる子が増えてくると、いつしか、できない子をサポートし始める子も現れました。

私たち大人は、つい、「できないことは恥ずかしい」と考え、無難な道を選んだり、おせっかいを避けたり、できない人に対して見て見ぬふりをしてしまいがちです。

でも、「できない」は誰にでもあること。もしかしたら私たちは、何かができなかったり、できなくなったとしても、「それならば、どうすればいいのか」を探ったり、互いに助け合ったりすることを、もっと自然体でしていくべきなのかもしれません。

そんなことに気づかされた一日でした。

最後にお知らせです。在宅医療をもっと知ってもらおうと、松原院長がラジオ番組を始めました。FM西東京（84・2MHz）で、第一火曜朝9時「ラジオ在宅NOW」です。お楽しみください。



「居宅介護支援事業所」の外観（上）と内観

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
（訪問中のため不在が多い）
■電話対応 ： 午前9:00～午後6:00
■定休日 ： 土日（祝日は診療）
■訪問地域 ： 西東京市、東久留米・新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索
↑診療相談はこちらから